

---

<b>Chapter 1</b>	<b>カスタムテーブル入門</b> .....	1-1
1.1.1	カスタムテーブルの概要.....	1-2
1.1.2	オプションの設定.....	1-4
1.2.1	度数集計テーブルの作成.....	1-7
1.3.1	クロス集計テーブルの作成.....	1-22
<b>Chapter 2</b>	<b>スケール変数の集計</b> .....	2-1
2.1.1	カスタムテーブルで表示できる要約統計量.....	2-2
2.1.2	要約統計量の信頼区間.....	2-5
2.2.1	スケール変数の集計(1).....	2-6
2.3.1	スケール変数の集計(2).....	2-14
2.3.2	出力されたテーブルの編集.....	2-23
<b>Chapter 3</b>	<b>変数の積み重ね、ネスト、層</b> .....	3-1
3.1.1	変数の積み重ね.....	3-2
3.1.2	ネスト(入れ子).....	3-3
3.1.3	層.....	3-4
3.2.1	変数の積み重ねを利用した集計テーブル.....	3-5
3.3.1	ネストを利用した集計テーブル.....	3-20
3.4.1	層を利用した集計テーブル.....	3-38
<b>Chapter 4</b>	<b>多重回答データの集計</b> .....	4-1
4.1.1	多重回答とは.....	4-2
4.1.2	カテゴリ形式での入力.....	4-3
4.1.3	2分形式での入力.....	4-4
4.2.1	データファイルの確認.....	4-5
4.2.2	多重回答グループ定義.....	4-6
4.3.1	多重回答データの度数集計テーブル.....	4-13
4.3.2	多重回答データの度数集計テーブルー結果の解釈ー.....	4-20
4.4.1	多重回答データのクロス集計テーブル.....	4-22
4.4.2	多重回答データのクロス集計テーブルー結果の解釈ー.....	4-29

<b>Chapter 5</b>	<b>その他のカスタムテーブル機能</b> .....	5-1
5.1.1	カテゴリの再計算を利用したテーブルの作成.....	5-2
5.2.1	欠損値を含むテーブルの作成 –カテゴリ変数–.....	5-15
5.3.1	欠損値を含むテーブルの作成 –スケール変数–.....	5-26
5.4.1	シンタックスの利用 –シンタックスの貼り付け–.....	5-30
5.4.2	シンタックスの利用 –シンタックスの実行–.....	5-38
5.4.3	シンタックスの利用 –シンタックスの保存–.....	5-40
<b>Appendix A</b>	<b>カスタムテーブルにおける仮説検定</b> .....	A-1
A.1.1	Pearsonのカイ2乗検定.....	A-2
A.1.2	カスタムテーブルにおける独立性の検定の例.....	A-3
A.2.1	列の比率の検定.....	A-5
A.2.2	複数の検定の実行 –Bonferroniの調整–.....	A-6
A.2.3	カスタムテーブルにおける列の比率の検定の例.....	A-7
A.3.1	独立したサンプルの $t$ 検定.....	A-10
A.3.2	カスタムテーブルにおける列の平均値の比較の例.....	A-11

本書では、IBM SPSS Statistics for Windows 24.0.0.0Jを使用しています。

オプションとして、Custom Tables を使用しています。

IBM およびSPSSは、International Business Machines Corp.の登録商標です。

本書を無断で複写複製(コピー)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。